

71st International
Berlin
Competition

第71回ベルリン国際映画祭
銀熊賞(脚本賞)受賞

Introduction【名詞】 紹介。序文。入門。導入。

INTRODUCTION

イントロダクション

ホン・サンス 監督作品

青年 ヨンホ をめぐ る 三つの 再会 と 三つの “抱擁”

監督・脚本・撮影・編集・音楽・ホン・サンス 出演・シン・ソクホ、パク・ミソ、キム・ヨンホ、イェ・ジウォン、ソ・ヨンファ、キム・ミニ、チョ・ユニ、ハ・ソングク
2020年 | 韓国 | 韓国語 | 66分 | モノクロ | 1.78:1 | モノラル 原題:인트로덕션 英題:Introduction 字幕:根本理恵 配給:ミモザフィルムズ mimosafilms.com/hongsangsoo

Starring SHIN SEOKHO, PARK MISO, KIM YOUNGHO, YE JIWON, SEO YOUNGHWHA, KIM MINHEE, CHO YUNHEE, HA SEONGGUK

A JEONWONSA Film Co. production, written and directed by Hong Sangsoo cinematography: Hong Sangsoo, editing: Seo Jihoon, music: Hong Sangsoo, cast director: Kim Jimin, world sales: FINECUT © 2020 Jeonwonse Film Co. All Rights Reserved.





『逃げた女』(2020 監督賞) 『イントロダクション』(2021 脚本賞)

3年連続ベルリン国際映画祭 韓国映画界の名匠ホン・サン

この味は、手に入れる価値がある。

—The New York Times

短く、鋭く、深い。

—Los Angeles Times

その心地よく穏やかな表面の下に、
豊かなご褒美が待っている。

—Variety

イントロダクション

第71回ベルリン国際映画祭銀熊賞(脚本賞)受賞
『逃げた女』に続くホン・サンス監督の長編25作目

ポン・ジュノ監督作品『パラサイト 半地下の家族』(19)やNetflixドラマシリーズ『イカゲーム』(21)など、世界的大ヒット作を世に送り出している韓国の映像業界で、独自のスタイルを貫き揺るぎない国際的評価を築き上げてきた名匠ホン・サンス監督。コロナ禍で撮影された長編25作目にして、2021年の第71回ベルリン国際映画祭で前年に続き銀熊賞(脚本賞)に輝いた『イントロダクション』は、モラトリアムな時期をさまよう青年を主人公に、前作『逃げた女』の変奏ヴァージョンとしても楽しめるモノクロームの青春映画だ。

主人公ヨンホに、『逃げた女』で奇妙なインパクトを放ち、本作の繊細な演技で初主演を飾ったシン・ソクホ。その他、『お嬢さん』(16)のキム・ミニをはじめ、ソ・ヨンファ、キ・ジュボン、チョ・ユニほかホン監督作品の常連キャストが顔を揃えた。

思い通りにいかない人生の痛みと愛しさ
先の見えない時代に生きる全ての若者たちへ

将来の進路も定まらず、まだ何者にもなれないナイーブな青年ヨンホ。韓国とベルリンを舞台に、折り合いの悪い父、夢を追って海外に旅立ってしまった恋人ジュウォン、息子の進路が気がかりな母との再会と三つの“抱擁”を通して、一人の若者の人生が紐解かれていく。誰もが経験する青年期の迷いや喪失、孤独を抱え、恋に夢に破れながらも、やがて心安らぐ温もりに満ちた瞬間が訪れる…。

紹介、入門、導入、序文など、そこに込められた全ての意味を内包したと監督が語るタイトル「イントロダクション」。そして観る者の想像力を豊かに押し広げる語りを通して、ままならない人生の中でもがく、未熟な若さゆえの痛みと愛おしさを、モノクロームで詩情豊かに紡いだ青年ヨンホをめぐる三つの物語。



監督・脚本・撮影・編集・音楽:ホン・サンス 出演:シン・ソクホ、パク・ミノ、キム・ヨンホ、イェ・ジウォン、ソ・ヨンファ、キム・ミニ、チョ・ユニ、ハ・ソングク
2020年/韓国/韓国語/66分/モノクロ/1.78:1/モノラル 原題:인트로덕션 英題:Introduction 字幕:根本理恵 配給:ミモザフィルムズ

© 2020. Jeonwonsa Film Co. All Rights Reserved mimosafilms.com/hongsangsoo (C) (R)

6月24日(金)ロードショー

有楽町イトシア イトシアプラザ 4F
〒 デアトルシネマグループ
ヒューマントラストシネマ有楽町
03 (6259) 8608 ttcg.jp